

JICAからの挑戦状への解決策

課題:「求む、開発途上国でDX等を活用した安く簡単なインフラ維持管理」

- 私たちの将来システムでは、**地中インフラを一元管理**できる
⇒一元管理できると**安価**に管理可能
- 新規工事はデジタル設計で実施されるため、データを私たちのシステムへ
⇒**データコンバート用のシステムは提供**可能
- 既存の**紙ベースのデータ**も取り込みができる
⇒紙ベースの図面からデータの取り込みが可能なシステムの基礎は構築済み

試作アプリの補足説明

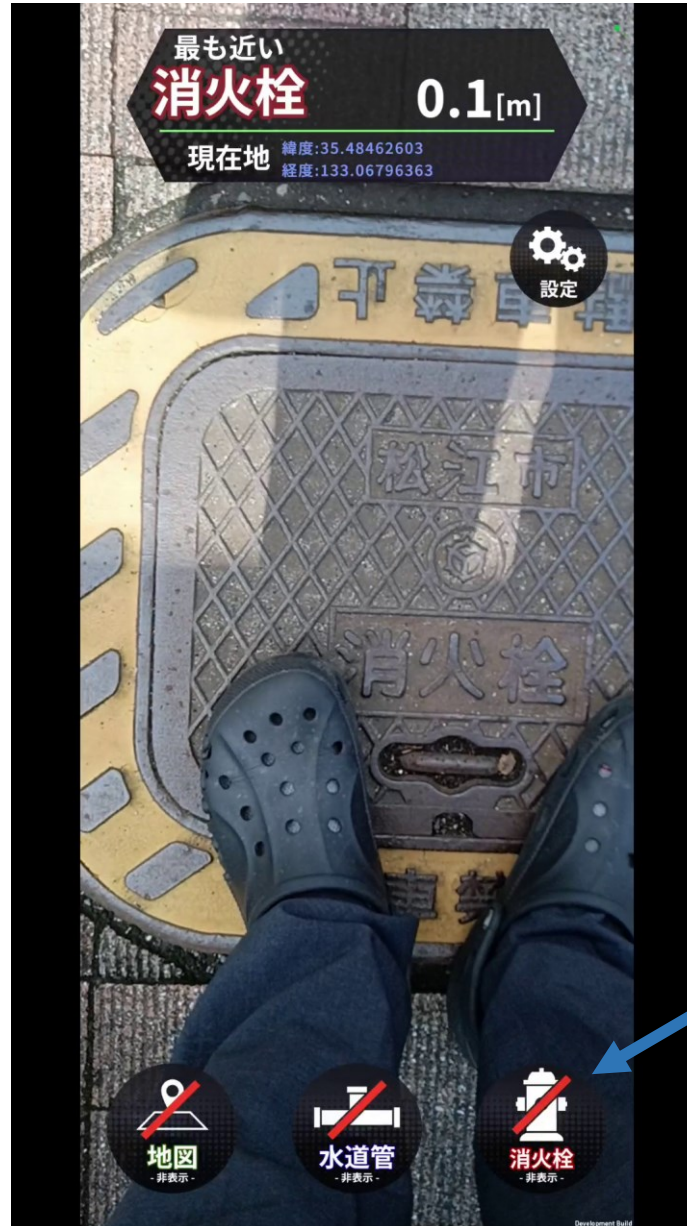
ユーザと消火栓との距離



AR表示された消火栓

表示・非表示の切り替え

試作アプリの補足説明(非表示の場合)



* 時期的に積雪が無いため、
雪が無い状態での実験

* システムの動作原理的に、
積雪の影響は受けない仕様

非表示時は斜線が付く

将来構想

地中インフラ

上下水道管, 簡易水道, 小規模水道, **消火栓**, ガス管, 電力線, 光ファイバー, 地下鉄, 道路, ロードヒーティング配管等

⇒上下水道の3D化と同様の技術が使える！！

地中インフラを一元管理



スマート・ライフライン

* 大規模災害時の復旧に活躍

地中インフラへの革命を実現

スマート・ライフラインのイメージ



工事者



近くにあるガス管に注意だな

